

[特集]

癒やしのライフスタイル

ペットと暮らし始めた人、ガーデニングや家庭菜園に目覚めた人、ハーブの香りに癒やされる人etc。

どうやらコロナ禍の自粛生活は、私たちの暮らし方に癒やし系のスイッチを入れたようです。それぞれの癒やしのライフスタイルを上手に手にするための初心者講座、のぞいてみてください。

ペットについてのアドバイスは、

徳島県動物愛護管理センターの魚住佳世さん、城万理さん、赤星啓さん。

家庭菜園は徳島県シルバー大学校講師・黒島忠司さん、

ハーブはハーバルライフスタイリスト・住友桂子さんです。



徳島県動物愛護管理センターの取組
徳島県動物愛護管理センター 主査兼係長 魚住佳世



当センターでは、犬・猫の収容のほか、ペットショップやトリミングサロン、動物園などの業に対する監視、動物由来感染症と言って、動物から人に感染する病気に対する調査研究も行っています。

●マイクロチップ装着の推進

収容された犬・猫について、飼い主の元に帰る可能性を高めるため、マイクロチップの推進を進めています。公益社団法人徳島県獣医師会の協力の下、動物病院で装着する場合、条件はありますが、3000円程度で実施しています。

マイクロチップは、令和4年6月より、販売される犬・猫では装着が義務化されますが、現在飼われている犬・猫や、譲渡を受けた犬・猫での装着は努力義務となります。首輪が抜けていなくなる場合も考えて、まだマイクロチップを装着していただければ是非装着してください。

●毎年の狂犬病予防注射を忘れずに

動物から人に感染する病気として最も怖い病気が、「狂犬病」です。狂犬病は、狂犬病にかかった犬に咬まれて発症しますが、犬以外の多くの動物でも感染した場合、発症します。発症した場合、その動物はほぼ100%死亡するのがこの病気の恐ろしいところです。

ペットと暮らすABC



マイクロチップ挿入の様子
右下はマイクロチップの大きさ



注射済票、鑑札装着の様子



マイクロチップ装着確認の様子
マイクロチップリーダーで読み取り中

日本で発生していないから大丈夫という話がありますが、国外では、いまだに年間数万人の犠牲者が出ています。アジアでも発生が多く、犠牲者はまだ幼い子どもであることが多いのです。

犬は、アジアでは狂犬病の感染源として知られています。日本では犬に予防注射をして予防することで、人への感染及び発症が無く、狂犬病の清浄国となっています。しかし、海外から狂犬病が持ち込まれないとも限りません。

人への感染を防止するため、その犬の所在地にあたる市町村への登録と毎年の狂犬病予防注射、そして観察と最新の注射済票の装着は忘れずに行いましょう。

狂犬病の予防注射は、犬のためでもありますが、人のためにも行っていることを忘れないようにしてください。

●犬・猫の不妊去勢手術費用の助成について

最後に、本県では犬猫の収容が多いため、犬猫の不妊去勢手術費用の助成を各市町村で行っています。特に、猫の繁殖力はすさまじく、1組の雄と雌猫から、1年で20匹の猫が生まれると言われています。犬も猫も、生後半年で子供を産める身体になります。増えることで、適正な飼育ができなくなるのであれば、増えないように不妊去勢手術を受けさせましょう。

飼っている犬猫を適正管理することは、飼い主の義務です。今いる犬・猫が天寿を全うできるように、健康管理も含めた世話をしましょう。万が一、迷子になってもすぐに飼い主の元に帰るよう、マイクロチップを装着しましょう。

一人一人の飼い主が注意し、努力することで、犬・猫の命が救われる、と言うことを決して忘れないでください。

大切なペットと一緒に避難するために

徳島県動物愛護管理センター係長・城万里



地震、豪雨や台風による災害が起こった際、最初に行くことは、もちろん飼い主自身や家族の安全確保ですが、ペットの安全確保についても普段から考え、備えておく必要があります。

ペットのために、ペットの身元を示す物(鑑札や迷子札、マイクロチップの装着)、最低でも5日分の水や食料の他、常備薬等も用意しておきましょう。その他、予備の首輪やリード等も準備しておくとういでしょう。

また、いざというときに慌てないように、避難所や避難ルートを確認し、ペットと一緒に避難(同行避難)できるように、日頃からキャリーバックやケージに入ることに慣れさせておくことも必要です。

避難所では、ルールを守り、他の避難者に迷惑をかけないように、ペットを管理しなければなりません。特に、避難所では動物が苦手な方やアレルギーを持っている方等への特別な配慮が求められます。

避難や避難所での生活はペットにとっても大きなストレスとなりますので、ペットの行動も考えた十分な準備をすることが大切です。

決して特別なことではなく、普段からペットの基本的なしつけや健康管理をして、ペットをさまざまな環境に慣らしておくことが、災害時にも役立ちます。しつけは、ペットの安全確保するだけでなく、災害時

ペットと暮らすABC

ペットのストレスも軽減させ、飼い主自身や周囲の方々への安全・安心の確保のためにも重要です。最後に、ペットの健康や命に関わる避難用具等の一例を示しますので、参考にしてください。

- 健康手帳(ワクチン接種歴、既往歴、かかりつけ動物病院等の情報)
- 療法食、薬
- ペットフード、水(5日分以上)
- キャリーバッグやケージ
- 予備の首輪、リード(伸びないもの)
- ペットシーツ等のトイレ用品
- 食器

命を繋ぐ譲渡活動、及びクラウドファンディング事業

徳島県動物愛護管理センター 主事・赤星啓



徳島県では、様々な理由で、徳島県動物愛護管理センターにやってくる不幸な動物たちが、毎年たくさんいます。収容される動物の中には、無責任に繁殖管理が行われず、産まれてしまったため、飼い主により故意に捨てられた動物たちも含まれます。昨年度だけで1176頭収容されており、その中で昨年度、殺処分となった犬、猫の数は、476頭でした。私たちは、こうした不幸な動物たちを減らしたいと考えております。

そのために、私たちはセンターに収容された不幸

な犬や猫たちを公益社団法人徳島県獣医師会及び動物愛護ボランティアの方々と連携し、収容された犬や猫の命を繋ぐ譲渡活動を行っています。

●「飼い主をさがす会」

センターでは、「飼い主をさがす会」として犬、猫の譲渡講習会を開催しています。収容される犬や猫たちの命を1頭でも多く救うとともに、この講習会を通して動物のことを正しく理解し、飼い主としての自覚と責任を持ち地域の模範となっていくような飼い主を育成していくことを目的としています。「飼い主をさがす会」は開催日の1週間前までの事前申し込みが必要で、予約制となっています。「飼い主をさがす会」は現在、月4回、日曜日に実施し、譲渡機会も増やしています。

●譲渡予定犬・猫の公開とふれあい

譲渡予定動物については、センターHPまたは「きずなの里アベニュー展示コーナー」に写真、年齢、性別などを掲載しています。さらに予約制ではありませんが、第2、第4土曜日のふれあい教室でふれあいすることもできます。譲渡講習会終了後、ふれあいドーム(または愛護管理棟内1階エントランスホールにて当日譲渡可能な動物とのマッチングをさせていただきます。他の日は、講習会受講済の方に限り「きずなの里」で面会及びマッチングをすることができます。マッチングが叶えば、譲渡に必要な手続きを行って頂き、新しい飼い主に動物を譲渡することになります。

●「命のバトン活動」クラウドファンディング

また、県外から譲渡できる犬や猫はいないかとの問い合わせを多くいただいています。徳島県では県外譲渡活動をさらに推進していきたいと考えていますが、その活動を推進していく上で、一つ大きな問題となるのが県外への動物の輸送費用です。こうした輸送費を含む譲渡費用をセンター及びセンター譲渡活動に協力いただいているボランティアの方々

のみで全額負担することは、出来ません。今までもボランティアさんの方に輸送費用を負担していただいていたことはありますが、毎回そうすることは出来ませんので、県外譲渡の場合譲渡先が限られていました。

こうした経済的な課題を解決し、遠方でセンターからやってくる新しい家族(犬・猫)を楽しみにしていただけている新しい飼い主さんのもとに無事に送り届けるための支援を募りたく、クラウドファンディング事業として「命のバトン活動」に挑戦しています。この挑戦は今年度で3回目になりますが、令和2年度の本県から他県への県をまたぐ犬・猫の譲渡数は148頭となり、この数字は令和2年度の犬・猫譲渡合計数の4分の1以上を占める数字となり、県外への譲渡が譲渡活動において有効な手段の一つとして引き続き手応えを感じています。

一匹でも多くの動物の命を、殺処分することなく、素敵な飼い主さんに繋いでいくための「命のバトン活動」にご協力支援の程、よろしくお願ひします。「命のバトン活動」クラウドファンディング問い合わせ先 徳島県動物愛護管理センター

TEL:089.636.6122

E-mail: doubutsuainigo@pref.tokushima.jp



保護されて県動物愛護管理センターで譲渡を待つ子犬たち

癒やしのわんにゃんセラピストたち

動物たちが持つ癒やしの力はストレスや孤独からの解放など、ペットセラピーとして人間の生活を豊かにしてくれます。



レオ
(4歳、徳島市)
イングリッシュ
プリンガー・ス
パニエル、雄。
特技は水泳。初



シヨコラとミルク
(3歳、徳島市)チワワ、雌。
ちよつと怖がりな甘えん坊のシヨコラ(右手前)はママが大好き、ベッドが大好きーな食いしん坊(笑)。一方、ミルク(左奥)はとーってもおとなしく、パパが大好きです。



モカ
(5歳、小松島市)
ダックスフント、雄。
好きなことは、お腹を撫でてもらうこと。嫌いなのは、病院(大っ嫌い)です。得意技は、「後ろ足立ち」と「スリッパ泥棒」。追いかけてこなくてももらえるので、隙があればかっぱらいます。

盛。『テリア界の貴公子』といわれる犬種で、常に周りを支配しようとするためしつけには苦労しますが、主人と認識するとても従順で愛嬌を振りまきます。散歩好きで、付き合うのが大変な、自慢のわがまま娘です。



ミルフィーユ
(9歳、徳島市)
ワイアー・フォック
ステリア、雌。
愛称ミッフィー。
活発で好奇心旺盛。



華(はな)
(14歳8カ月、阿南市)
雑種、雌。
子犬の頃、河川敷に捨てられていた子です。明るくて元気いっぱいで、いつも楽しい子でした！最期まで本当にいい子でした。



ミル
(13歳、板野郡)
シーズー、雌。
トリミング直後のワンショツト。我が家の癒しです。のんびり屋で食いしん坊、雷は最大の苦手です。

好きなことは散歩とおやつ。これには大きく反応します。ハウス、おすわり、待て、以外の格別な特技はないものの、目でお話するコです(笑)。犬の散歩は飼い主の散歩です。一緒に長生きして欲しいです。

Aiii(アリー)(6歳、徳島市)
キャバリアトライカラー、雄。
対面ではツンデレですが、慣れると全力で甘えてきます。興奮すると吠えずに喋るように鳴きます。



ボス
(3ヶ月、徳島市)柴犬、雌。
チャームポイント、音を聞き分ける時に首をかしげる仕草です。特技は、仰向けで寝ることです。



えも(12歳、徳島市)
ミニチュアダックスフント、雄。
お散歩が苦手でお散歩よーと声をかけると死んだふりをします。魅惑のソーセージボディの持ち主です。



レオ
(4歳、徳島市)柴犬、雄。
体の震えが止まらないほど怖いのが陸上競技の鉄砲の音。夢だつたパン、と撃つまねをすると「ロン」と倒れる芸の習得は無理でした。



山地黒子(やまぢくろこ)(1歳半、板野郡)
ラブラドルとシヌウザーのミックス、雌。
人慣れしやすく甘えん坊です。飼い主が元気なときはもちろん、メンタルが弱っているときなど家族の一員として時には励まされ癒やしてくれる素敵な相棒です。